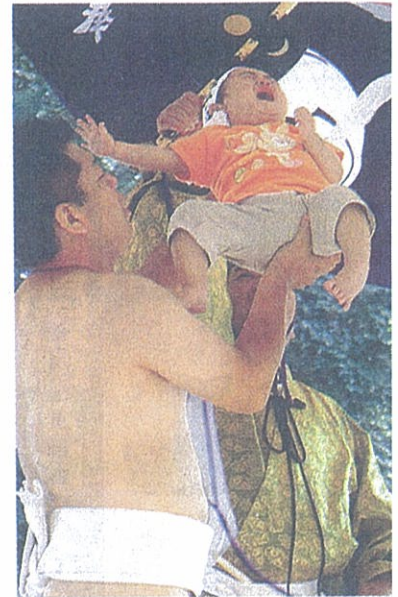


が識別し、回収ボックスに入れていた。体験した同市の主婦(三喜)は「賞味期限切れの食品が出ないようにするなど、ごみを減らす努力をしたい」と話していた。(神田要一)



## 「泣き相撲」

しみ、蘇生を祈願すると生きた返ったという伝承があり、秋の大祭に合わせて泣き相撲を開催。今年は、県内や名古屋市など全国から男女の赤ちゃん約千二百人が集まった。

しみ、蘇生を祈願すると生きていた。勝敗はつけず、双方が勝ち、秋の大祭に合わせて泣き相撲を開催。今年は、県内や名古屋市など全国から男女の赤ちゃん約千二百人が集まった。

(神田要一)

# 至言 提言 とちぎの 現場から

弊社の取り組みの一つに「ハンガーゼロ・アフリカ」

十二日から十日間、J

アに流入しています。国境付近の街には国連の難民キャンプがあります。が、既に四十万人以上が避難し、毎日のように数百人ずつ増加しています。治安も非常に悪く、国連職員だけでなく、ケニア北部の州マルサビット地方は首都ナイロビから六百キロの赤道直下。この二年間、雨が降らない干ばつ状況です。十年ほど前までは雨期と乾期があり、比較的豊かな放牧や畑作ができたのですが、現況は「乾いた大地」。生き物が生活をす

## 苦しむアフリカ

# 支援の輪を広げたい

パン・アキモト社長 秋元 義彦

「リカ」支援があります。飢餓や貧困で苦しむアフリカを支援している非政府組織(NGO)「日本国際飢餓対策機構(JI-FH)」(本部・大阪)を、パンの缶詰のリユースシステムで応援してい



I-FHの代表とケニア各地を視察してきました。緊急の食糧支援が必要とされている東アフリカ地区のソマリアから内戦と干ばつの影響で、多数の難民が国境を越えてケニ

援を担うNGOスタッフにも警護を付けないと移動できない状況でした。日中の気温は四〇度を超え、食糧や水の不足もあって、生きていくには非常に厳しい環境です。

家畜などの死骸も随所で確認しました。JI-FHと連携するケニアFH(飢餓対策機構)の案内で、初等教育現場や母子支援センター、農業支援などの現場

を五日かけて見てきました。移動距離は千八百キロを超え、道のほとんどはオフロード。内臓の疲れから、胃がいれんを発症しました。しかし現地NGOの「与えてもらうだけの支援から自立しよう」としている一生懸命さ「に心を打たれ、この現実を日本に伝えたい」との思いが強まりました。

地方の一パン屋にできる支援は小さなものですが、教育・農業支援の輪も広げたいと感じました。サンプルを持ち込んだ弊社のパンの缶詰は子どもたちに大人気。できるだけ大きな数にして贈りたいと思いました。

(25日までの受け付け)

- 宇都宮県**
- 鈴木勇氏(クローバー木会長) 25日、73歳
  - (通) 26日午後6時(式) 27日午前11時半、ともに本1の2、はまつ齋(自) 若草4(喪) 長男 宏幸(ひろゆき)氏
- 小田原市**
- 綱本秀雄氏 23日、71歳
  - (通) 27日午後6時(式) 28日正午、ともに外城7-7、小山聖苑(自城)(喪)妻・とし子さん、遺話「魚釣りが好きでした。」
- 栃木県**
- 神原正雄氏(小山市職) 神原栄子さんの父)
  - 神原栄子さんの父) 日、87歳(通) 27日午後時(式) 28日午後1時、ともに藤岡町大前12229JAしもつけ藤岡中央ホル(自) 藤岡町部屋66(喪) 長女の夫・国学院栃木高校教諭、邦夫(くお)氏、遺族の話「囲碁好きでした。」
- 群馬県太田市**
- 田嶋康司氏 24日、58歳
  - (通) 27日午後6時(式) 28日午後1時半、ともに町66、太田市斎場(自) 今泉町(喪) 妻・幸代(ちよ)さん